



「シンプル」→「伝わる・わかる」→「つながる」→「安心」

学校だより

令和6年2月1日
東京都立羽村特別支援学校長
外山 裕介

1月9日始業式にて児童・生徒とお話しました

能登半島地震で被害にあった人全員に心からがんばってくださいと伝えたいと思います。
また、被害にあった人々を助けようとがんばっている皆さんを心から応援します。
余震が続いており、多くの人が不自由な生活をしています。1日も早く穏やかな日常が戻ってきてほしいと思います。

開校50周年記念式典 式辞

昨年12月20日に実施した記念式典における式辞で、児童・生徒に向けて話した部分を抜粋して紹介します。

(前略)

児童・生徒の皆さん、今日は学校ができて五十年の節目をお祝いするうれしい日です。校庭にそびえるように生える松の木も、私たちの学校の歴史と共に育ち、我々を見守ってくれていました。

さて、本校の校章は、人と人が向き合い手を取り合い、顔を寄せ合う姿です。この形は一对の羽のようにも見えます。羽村特別支援学校は羽村市にあり、校章が、羽のように見えるのも、単なる偶然ではないように感じます。

この「人と人」とは、親と子、子供同士、教師と児童・生徒が手を取り合い励ましあっている姿です。

私は皆さんが、この校章のように周りの人々と手を取り合い、一对の羽のように協力し、励ましあいながら社会に羽ばたいていってほしいと願っています。

小学部、中学部・高等部の皆さん、一人一人がこの学校の歴史です。

(中略)

さて、50年を経た今年度は468名のスタートでした。学校経営の合言葉は「シンプル」「伝わる・わかる」「つながる」「安心」です。様々な取り組みが伝わってこそ安心につながるとい意味です。

子供が自分自身をわかり、必要な助けを自ら求める力を身に付けるためには、失敗を認めてもらい、嫌なことも認めてもらい、人間関係の中に安心して身をゆだねることができる。このような環境が必要です。

これからも本校に通う一人一人の児童・生徒が自分のよさや可能性を認識し、価値ある存在として尊重され社会に巣立っていくことができるよう、今後も地域と手を取り合いながら「特別支援教育」を推進して参ります。そしてこれまで半世紀にわたって積み上げてきた小中高3学部設置校である伝統を「強み」として次代に引継いでまいります。

(後略)

以上のようなお話をしました。
皆さん集中して聞いており、来賓の方々からも褒めの言葉をいただきました。

(右上に続く)

授業参観週間

1月15日(月)、16日(火)、24日(水)に授業参観にお越しいただきました保護者の皆様、ありがとうございました。コロナ禍の時より、少しずつ授業を参観できる機会を増やしているところです。授業参観以外でも、申し出があった場合はいつでも御参観は可能です。少しでもお子様の参観機会を設けていきたいと考えております。

実践報告会

1月26日(金)に実践報告会を行いました。数年間、感染症対策のため実施ができていませんでしたが、今回、都内をはじめ、全国各地(北海道、茨城、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、愛知、宮崎)からたくさんの方にお越しいただきました。日程は、午前中の全学級の授業公開、午後の新学習指導要領に基づく各学部の実践報告、講師による講演、教材教具の展示などの充実したものでした。昼食時には、来校者の方同士で本校の児童・生徒の皆さんの取り組み、教職員の取り組みをきっかけとした情報交換も行われました。

今後も、特別支援教育を充実させていくため、多くの方と力を合わせて実践を積み重ねて参ります。

保護者の皆様、デイサービスの皆様、0便下校への御理解と御協力、ありがとうございました。



2月20日(火)
10時～全校保護者会
11時～保護者セミナー
会場:体育館

2月20日(火)は体育館にて10時より年度末の全校保護者会を予定しております。今年度の学校運営に関して、また

保護者アンケートへの取り組みの内容などについて説明をいたします。

また、同じく体育館で11時から、羽村(保護者)セミナーを行います。「相談支援専門員と考える地域の今とこれから」と題して、相談支援はんずの三平葉子さんをお迎えします。会場が体育館ですので、申し込みされていない保護者の方もぜひご参加ください。

オンライン参加予定の方は、後日配布されます「全校保護者会の案内」を御覧ください。

学校だよりはHPIにもアップされています。感想等ございましたら、連絡帳等を通してお聞かせください。